

平成 27 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ

平成 27 年度論文賞選考委員会 担当理事 道免 和久

委員長 渡邊 修

委員 大高洋平、岡崎哲也、先崎 章

田中宏太佳、中村純人、馬場 尊

水野勝広、三原雅史、山田 深

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり、論文賞選考内規に基づいて、毎年論文賞選考委員会を発足させ、選考作業を行っております。

平成 27 年度中の対象論文 7 編（原著 6 編、短報 1 編）に対し、各選考委員がテーマの独創性・重要性、研究・デザイン、データの提示、データの解釈、論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し、結果を集計いたしました。平成 28 年 2 月 19 日に論文賞選考委員会を開催し、最優秀論文賞、優秀論文賞および奨励論文賞の各賞を選考しました。

選考結果は理事会に報告され、承認を受けた上で、平成 28 年 6 月 9 日の日本リハビリテーション医学会学術集会会員への報告会の場で、理事長から最優秀論文賞受賞者に賞状ならびに目録が授与されました。受賞論文を下記にご報告いたします。

優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心からお礼申し上げます。公平な選考が行われたことをご報告いたしますとともに、是非、多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき、リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

◎最優秀論文賞：徳永 誠 氏

近藤克則：大腿骨頸部骨折（近位部骨折）患者の訓練単位数と退院時運動 FIM との関係－日本リハビリテーション・データベースの分析－ Jpn J Rehabil Med 2015；52:751-759

◎優秀論文賞：木村彰男 氏

安保雅博、正門由久、山下義之、前田俊夫：上下肢痙縮を有する脳卒中後の片麻痺患者を対象とした A 型ボツリヌス毒素製剤投与状況の調査 Jpn J Rehabil Med 2015；52：421-430

◎奨励論文賞：中村智之 氏

馬場 尊：「2014 年度診療報酬改定基準における経口摂取回復率の検討 Jpn J Rehabil Med 2015；52：713-719

◎優秀論文賞次点：沖井 明 氏

鈴鴨よしみ、中野渡達哉、菅 俊光：下肢人工関節置換術後の転倒関連自己効力感は術後の QOL に関連する Jpn J Rehabil Med 2015；52：55-62

◎奨励論文賞次点：吉田清志 氏

鈴木恒彦、松井吉裕、樋口周久、梶浦一郎：脳性麻痺の脊柱側弯変形に対する動的脊柱装具の介護者からみた効果の検討 Jpn J Rehabil Med 2015；52：251-255